

「TSL1.2」を有効にする設定方法について

平素は、CSアカウントクラウドサービスをご利用いただき、ありがとうございます。
通信内容が漏洩するセキュリティ上の脆弱性がある、通信暗号化方式「SSL2.0/3.0」および、「TLS1.0/1.1」の対応策として、弊社クラウドサービスにおいてもこれらの脆弱性のあるプロトコル通信を終了致します。

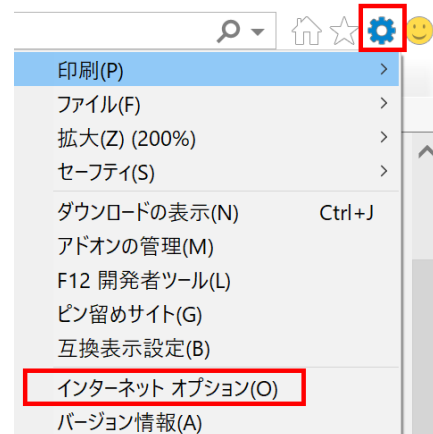
弊社クラウドサービスを利用するためには、より安全なプロトコル通信を行うため、
「TSL1.2」を有効にさせていただく必要があります。

誠に恐れ入りますが、「TSL1.2」のプロトコル通信の使用が「有効」になるよう、Internet Explorer の設定を変更していただきますよう、お願い致します。

なお、有効にしなかった場合、無応答になり画面が表示されなくなったり、「ページが表示できません」と表示され、クラウドサービスに接続できなくなってしまうのでご注意ください。また他ブラウザをご利用の場合、最新バージョンへアップデートをお願い致します。手順につきましては、下記をご確認ください。

【TSL1.2 有効化設定変更手順】

- ① Internet Explorer を開き、メニューバーの「ツール (T)」、および右上の歯車のボタンから、「インターネットオプション (O)」を押下します。



- ② 「インターネットオプション」のダイアログが開くので、「詳細設定」タブを開き、画面を下に少しスクロールしてセキュリティのカテゴリの「TLS1.2 の使用」にチェックを入れます。最後に「OK」ボタンを押下します。

